

2013年9月20日

各 位

会 社 名 マックスバリュ東北株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 内田和明
(コード番号 2655 東証第2部)
問 合 せ 先 常務取締役経財本部長 古谷憲介
(電話 018 - 847 - 2792)
当社の親会社 イオン株式会社
代 表 者 名 取締役兼代表執行役社長 岡田元也
(コード番号 8267 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2013年4月9日に公表した2014年2月期第2四半期累計期間(2013年3月1日～2013年8月31日)の業績予想を以下のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2014年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2013年3月1日～2013年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 49,000	百万円 700	百万円 650	百万円 400	円 銭 21 17
今回修正予想 (B)	49,960	251	280	103	5 86
増 減 額 (B-A)	960	449	370	297	
増 減 率 (%)	2.0	64.1	56.9	74.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2013年2月期第2四半期)	47,349	568	588	684	36 23

2. 修正の理由

2014年2月期第2四半期累計期間においては、個人消費の停滞や競争環境の激化、人口減少など依然として厳しい状況にある中、お客さまの日々のくらしのニーズにこだわった品揃えによる営業力の強化と、イオンのブランド「トップバリュ」の売上拡大等による収益力の改善、おもてなしの心がこもった接客と魅力ある売場づくりに取り組んでまいりました。

こうした取り組みを実施した結果期間中の既存店売上高が対前年同四半期比 101.6%と改善傾向を維持したことや、新潟県内へ新たに新店したことなどから営業収益は当初予想を上回る見通しとなりました。一方競合他社との価格競争の激化や業種・業態を超えた競争の激化などにより、売上総利益率は前年同期比 0.2 ポイント低下する見通しです。この売上総利益率の低下による売上総利益額の減少部分を吸収すべく経費の圧縮に努めましたが、新規出店・店舗活性化の費用等により販売費及び一般管理費の増加率が営業総利益率の伸びを上回ることとなり、営業利益、経常利益、四半期純利益は当初予想を下回る見通しとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、2013年4月9日に公表しました業績予想を変更いたしません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上